

かほく市 住宅再建や液状化対策に関する意向調査結果

■ 意向調査実施概要

対象 内訳	・かほく市内罹災証明発行手続きを行った世帯：1099世帯 - 大崎地区：365世帯 - 内日角地区：181世帯 - 宇野気地区：203世帯 - 七窪地区：200世帯 - 上山田地区：24世帯 - 横山地区：64世帯 - 内高松地区：62世帯
調査方法	・郵送配布 郵送回収もしくはWEB回答
調査期間	・2024年9月2日～16日

■ 意向調査 設問概要

1.世帯属性	問1 世帯構成 問2 世帯の年齢別人数 問3 自宅被災状況 問4 公費解体申請の有無
2.住宅再建	問5 住宅再建を希望する場所 問6 住宅再建にあたっての住まい形態（持ち家か賃貸か等） 問7 住宅再検討の実現希望時期
3.液状化対策	問8 宅地復旧の支援制度の活用意向 問9 宅地復旧の支援制度で想定する工事内容 問10 公共施設との一体的な液状化対策の必要性
4.その他	問11 回答者名 問12 分離世帯への意向調査必要の有無

■ 回収状況

合計 713件（市全域）
回収率 64.9%

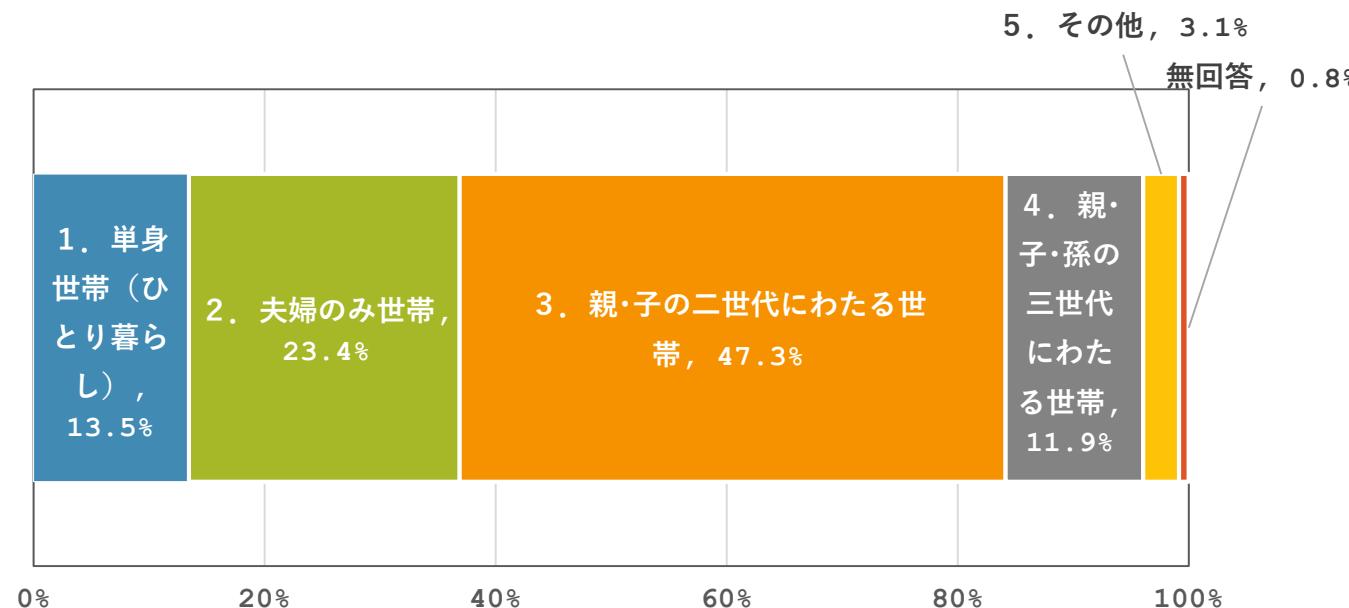
■ 集計状況

市全域	集計率 地区全体		集計率 半壊以上		集計率 半壊未満	
	64.9%	配布：1099件 集計：713件	73.5%	配布：223件 集計：164件	62.7%	配布：876件 集計：549件
大崎地区	66.0%	配布：365件 集計：241件	70.7%	配布：157件 集計：111件	62.5%	配布：208件 集計：130件
		配布：181件 集計：117件		配布：26件 集計：20件		配布：155件 集計：97件
宇野気地区	63.1%	配布：203件 集計：128件	100.0%	配布：5件 集計：5件	62.1%	配布：198件 集計：123件
		配布：200件 集計：124件		配布：15件 集計：11件		配布：185件 集計：113件
上山田地区	79.2%	配布：24件 集計：19件	83.3%	配布：6件 集計：5件	77.8%	配布：18件 集計：14件
		配布：64件 集計：46件		配布：2件 集計：2件		配布：62件 集計：44件
内高松地区	61.3%	配布：62件 集計：38件	83.3%	配布：12件 集計：10件	56.0%	配布：50件 集計：28件

結果 | 単純集計一覧

問1 | 地震発生時に同居されていた世帯構成についてお答えください。

- 「親・子の二世代にわたる世帯」が最も多く、47.3%を占めている。
- 次いで「夫婦のみ世帯」が23.4%を占めている。



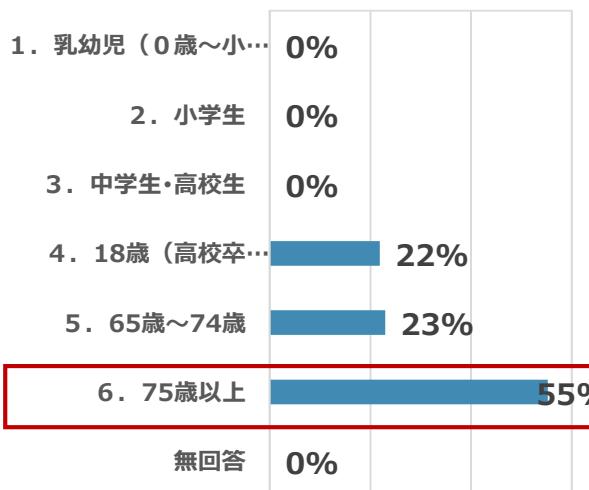
問1 地震発生時に同居されていた世帯構成についてお答えください。（該当する番号1つに○印をつけてください）	回答数	割合
1. 単身世帯（ひとり暮らし）	96	13.5%
2. 夫婦のみ世帯	167	23.4%
3. 親・子の二世代にわたる世帯	337	47.3%
4. 親・子・孫の三世代にわたる世帯	85	11.9%
5. その他	22	3.1%
無回答	6	0.8%
合計	n=713	

結果 | 単純集計一覧

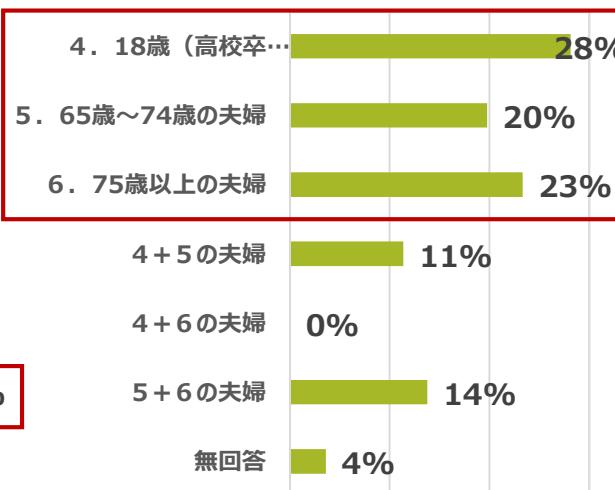
問2 | 問1で回答された世帯構成について、該当する人数をお答えください。

- 「単身世帯」では、75歳以上の世帯が多く、55%を占めている。
- 「夫婦のみ世帯」では、「18歳～64歳の夫婦」、「65歳～74歳の夫婦」、「75歳以上の夫婦」のいずれもが2割～3割弱程度存在する。
- 「親・子の二世代にわたる世帯」では、「高校生以下の居ない世帯」が58%と割合が高い。
- 「親・子・孫の三世代にわたる世帯」では、「高校生以下の居ない世代」が半数程度を占めている。

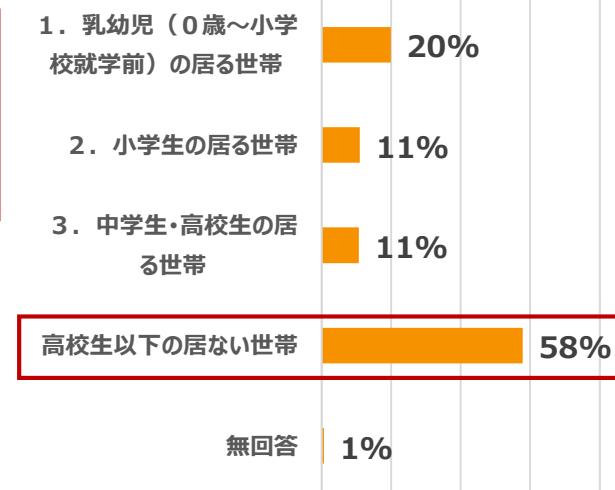
■問1で「単身世帯（ひとり暮らし）」と回答した世帯



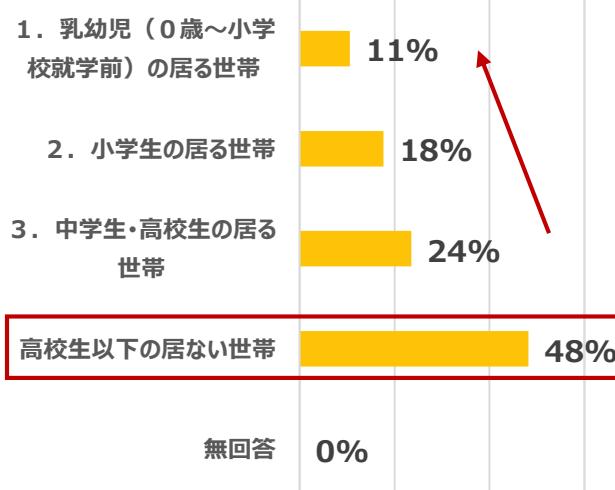
■問1で「夫婦のみ世帯」と回答した世帯



■問1で「親・子の二世代にわたる世帯」と回答した世帯



■問1で「親・子・孫の三世代にわたる世帯」と回答した世帯



0% 20% 40% 60%

1. 乳幼児（0歳～小学校就学前）	2. 小学生	3. 中学生・高校生	4. 18歳（高校卒業）～64歳の夫婦	5. 65歳～74歳	6. 75歳以上	無回答
0	0	0	21	22	53	0
0%	0%	0%	22%	23%	55%	0%

0% 10% 20% 30%

4. 18歳（高校卒業）～64歳の夫婦	5. 65歳～74歳の夫婦	6. 75歳以上の夫婦	4+5の夫婦	4+6の夫婦	5+6の夫婦	無回答
47	33	39	19	0	23	6
28%	20%	23%	11%	0%	14%	4%

0% 20% 40% 60% 80%

1. 乳幼児（0歳～小学校就学前）の居る世帯	2. 小学生の居る世帯	3. 中学生・高校生の居る世帯	高校生以下の居ない世帯	無回答
67	37	36	195	2
20%	11%	11%	58%	1%

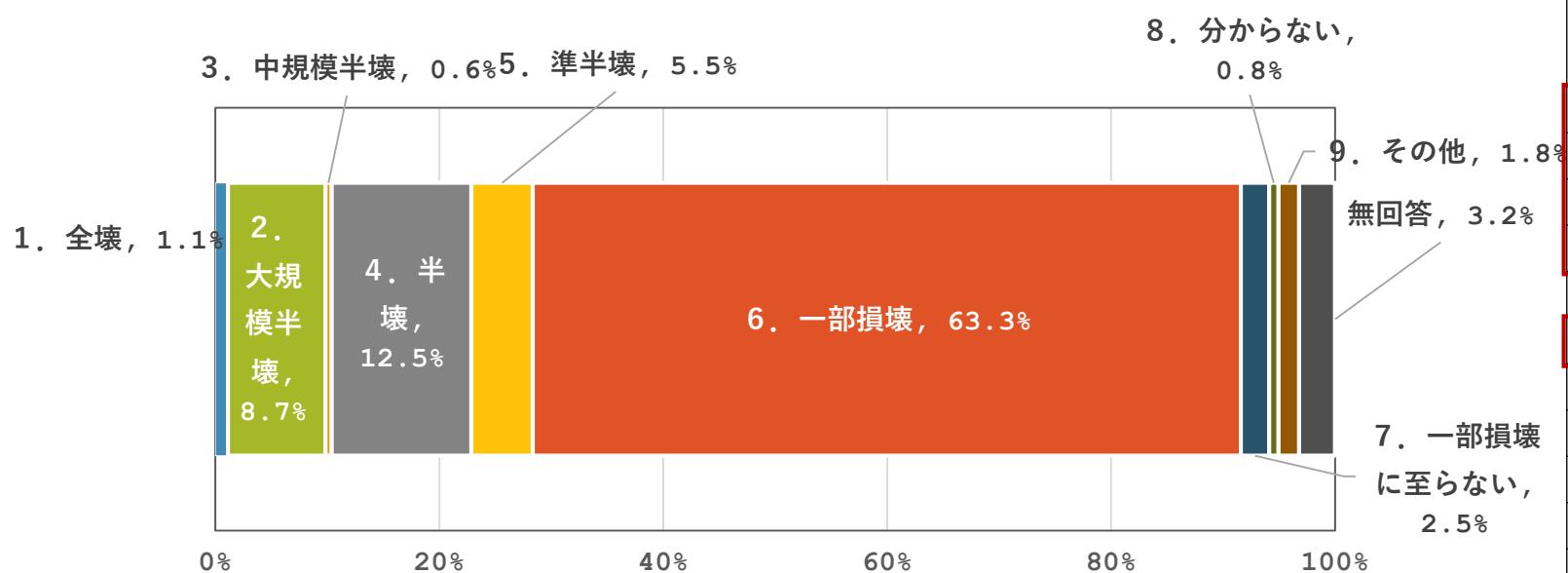
0% 20% 40% 60%

1. 乳幼児（0歳～小学校就学前）の居る世帯	2. 小学生の居る世帯	3. 中学生・高校生の居る世帯	高校生以下の居ない世帯	無回答
9	15	20	41	0
11%	18%	24%	48%	0%

結果 | 単純集計一覧

問3 地震発生時にお住まいだったご自宅の被災状況についてお答えください。

- ・ 全体の63.3%が「一部損壊」の被害となっている。
 - ・ 半壊以上の被害を受けた人は、合計で2割強程度存在する。



回答数	割合
8	1.1%
62	8.7%
4	0.6%
89	12.5%
39	5.5%
451	63.3%
18	2.5%
6	0.8%
13	1.8%
23	3.2%
n=713	

結果 | 単純集計一覧

問4 | 地震発生時にお住まいだったご自宅の「公費解体」の意向についてお答えください。

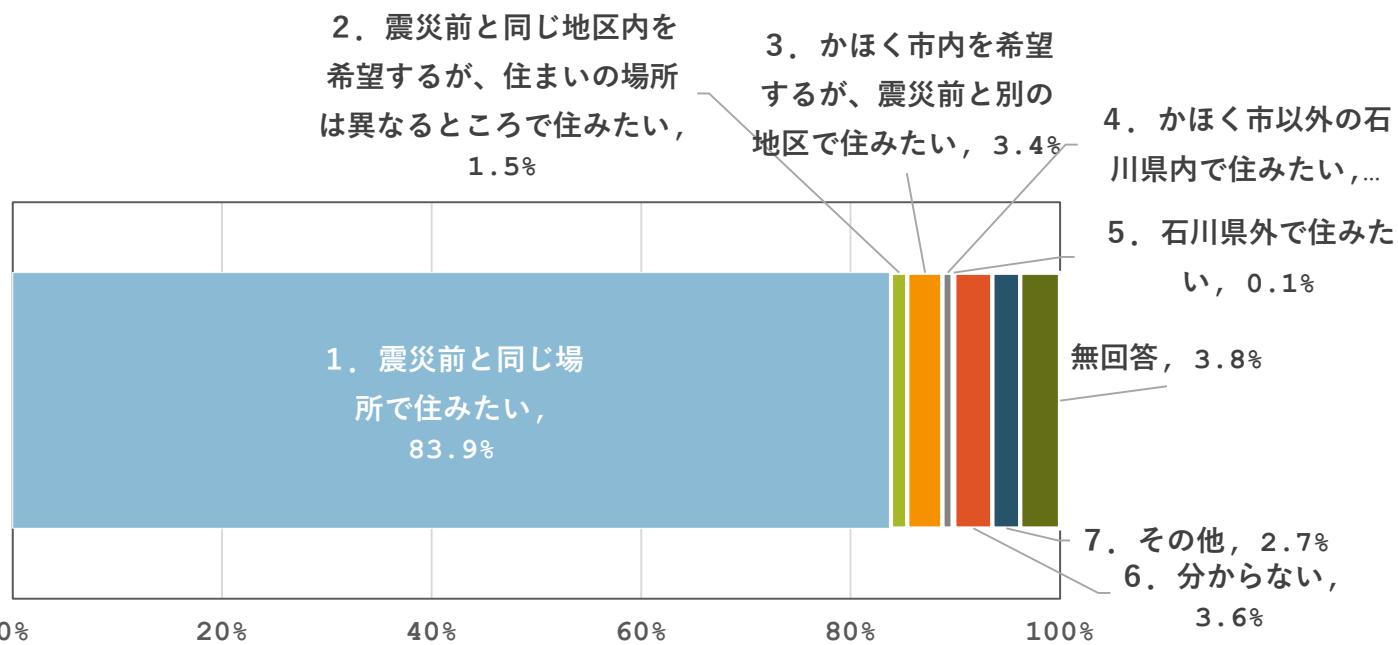
- 「公費解体は望まない（もしくは公費解体の対象に該当しない）」と回答した人が77.7%と最も多い。
- すでに「公費解体申請を行った」人が9.3%を占め、一定数存在する。



結果 | 単純集計一覧

問5 | これからのお住まい（場所）について、現在の考え方をお答えください。

- 全体の83.9%が「震災前と同じ場所で住みたい」と回答し、震災前と異なる場所に住みたい人は少数となっている。

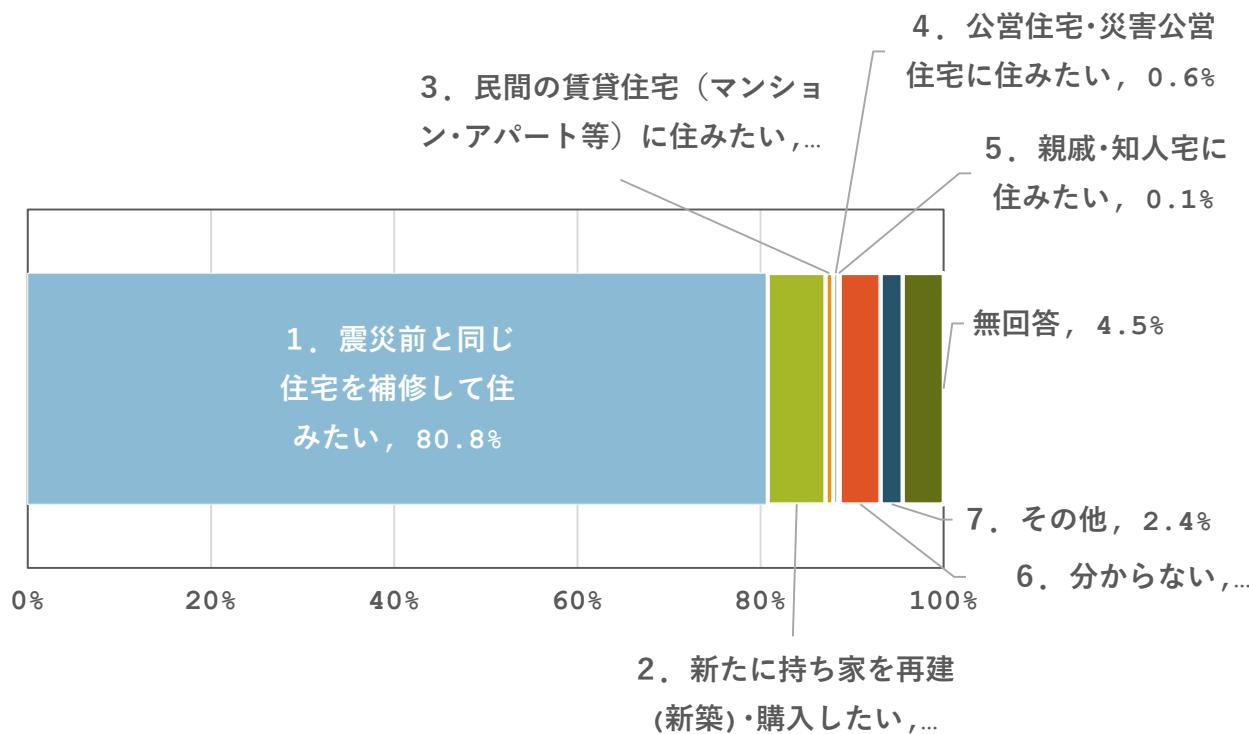


問5 これからのお住まい（場所）について、現在の考え方をお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）	回答数	割合
1. 震災前と同じ場所で住みたい	598	83.9%
2. 震災前と同じ地区内を希望するが、住まいの場所は異なるところで住みたい	11	1.5%
3. かほく市内を希望するが、震災前と別の地区で住みたい	24	3.4%
4. かほく市以外の石川県内で住みたい	7	1.0%
5. 石川県外で住みたい	1	0.1%
6. 分からない	26	3.6%
7. その他	19	2.7%
無回答	27	3.8%
合計	n=713	

結果 | 単純集計一覧

問6 | これからのお住まい（住宅）について、現在の考えをお答えください。

- 「震災前と同じ住宅を補修して住みたい」と回答した人が80.8%と最も多い。
- 全体の6.3%が「新たに持ち家を再建（新築）・購入したい」意向を示している。

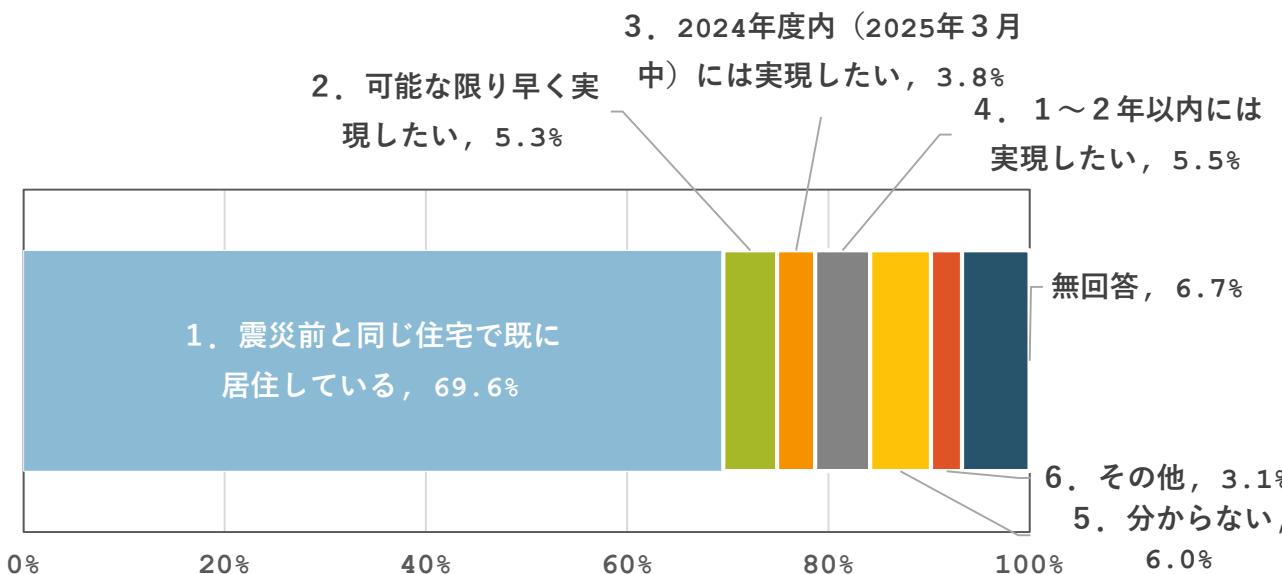


問6 これからのお住まい（住宅）について、現在の考え方をお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）	回答数	割合
1. 震災前と同じ住宅を補修して住みたい	576	80.8%
2. 新たに持ち家を再建(新築)・購入したい	45	6.3%
3. 民間の賃貸住宅（マンション・アパート等）に住みたい	6	0.8%
4. 公営住宅・災害公営住宅に住みたい	4	0.6%
5. 親戚・知人宅に住みたい	1	0.1%
6. 分からない	32	4.5%
7. その他	17	2.4%
無回答	32	4.5%
合計	n=713	

結果 | 単純集計一覧

問7 | 問6で回答したお住まい（住宅）を実現したい時期についてお答えください。なお、自宅の修繕や再建を希望する場合には着工希望時期としてお答えください。

- 「震災前と同じ住宅で既に居住している」人が全体の7割弱程度を占めている。
- 早く実現したい意向の人は、各段階で数%前後ずつ存在する。

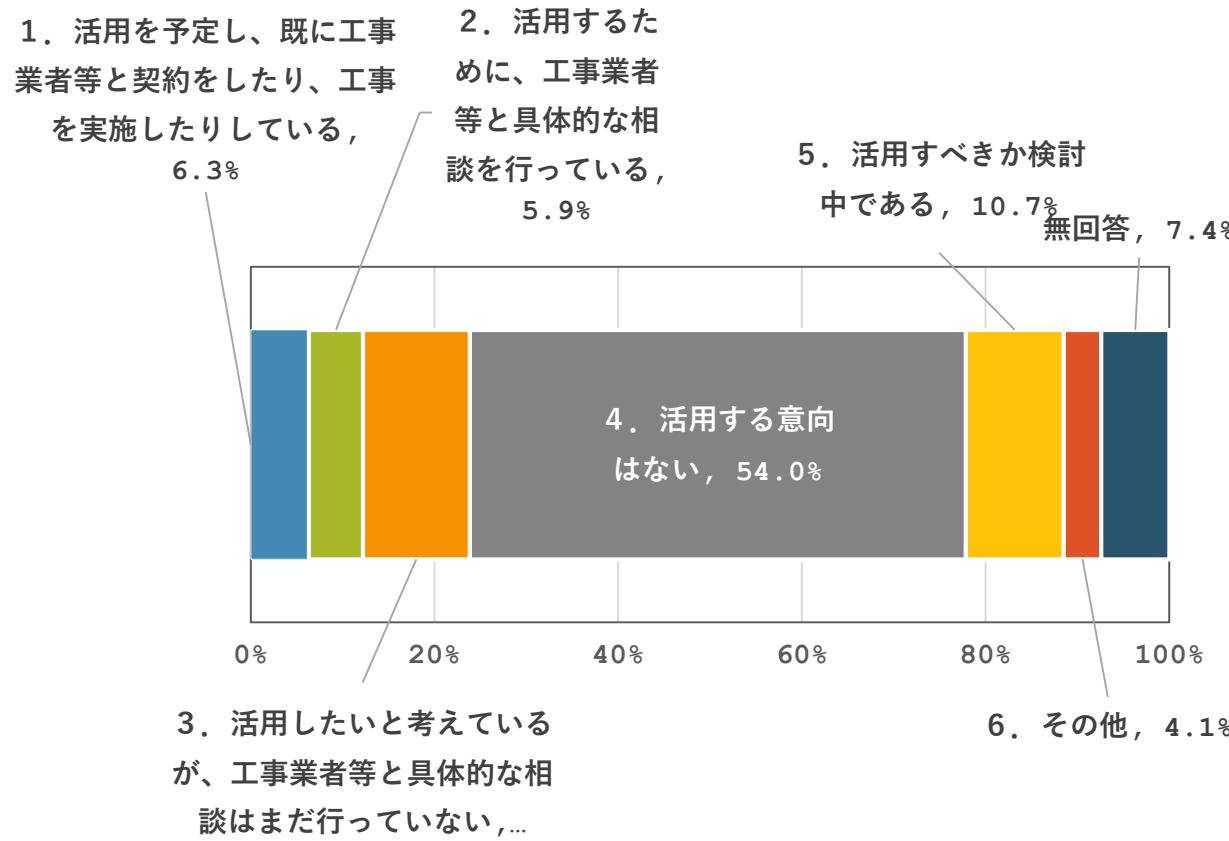


問7 問6で回答したお住まい（住宅）を実現したい時期についてお答えください。なお、自宅の修繕や再建を希望する場合には着工希望時期としてお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）	回答数	割合
1. 震災前と同じ住宅で既に居住している	496	69.6%
2. 可能な限り早く実現したい	38	5.3%
3. 2024年度内（2025年3月中）には実現したい	27	3.8%
4. 1～2年以内には実現したい	39	5.5%
5. 分からない	43	6.0%
6. その他	22	3.1%
無回答	48	6.7%
合計	n=713	

結果 | 単純集計一覧

問8 | 宅地の復旧等に係る支援制度の活用意向についてお答えください。なお、宅地の復旧等に係る支援は必要なく、住宅の修繕等に係る支援だけを活用する場合の方は、「4.活用する意向はない」を選択ください。

- 支援制度を「活用する意向はない」と回答した人が54.0%と最も多い。
- 一方で、すでに活用に向けて取り組んでいる人が合計2割強程度存在する。

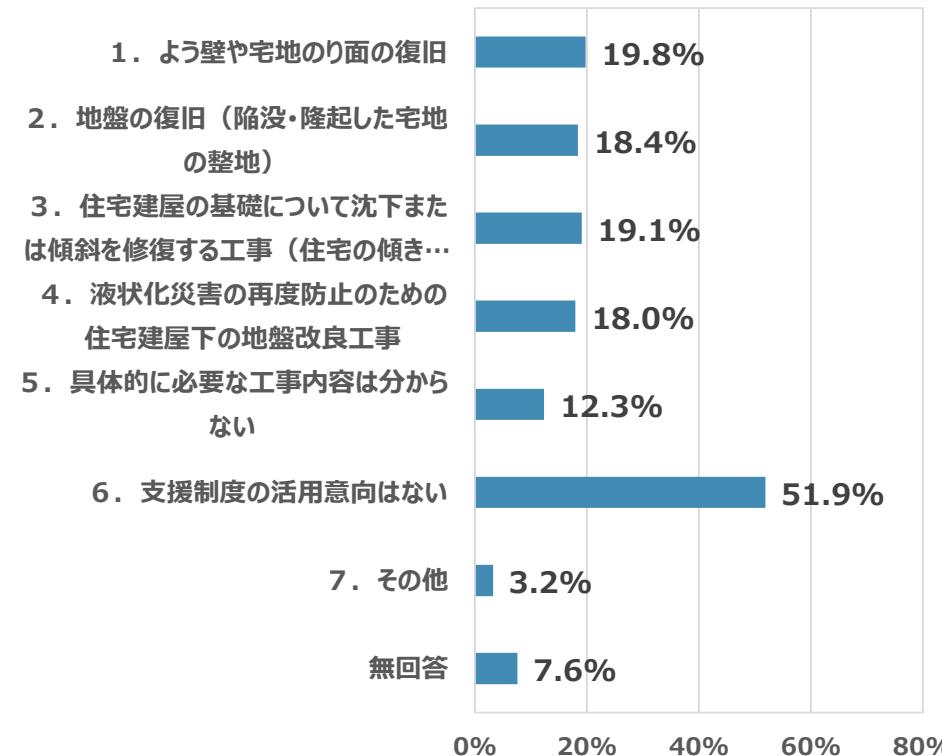


問8 宅地の復旧等に係る支援制度の活用意向についてお答えください。なお、宅地の復旧等に係る支援は必要なく、住宅の修繕等に係る支援だけを活用する場合の方は、「4.活用する意向はない」を選択ください。(該当する1つに○印を付けてください)	回答数	割合
1. 活用を予定し、既に工事業者等と契約をしたり、工事を実施したりしている	45	6.3%
2. 活用するために、工事業者等と具体的な相談を行っている	42	5.9%
3. 活用したいと考えているが、工事業者等と具体的な相談はまだ行っていない	83	11.6%
4. 活用する意向はない	385	54.0%
5. 活用すべきか検討中である	76	10.7%
6. その他	29	4.1%
無回答	53	7.4%
合計	n=713	

結果 | 単純集計一覧

問9 | 宅地の復旧等に係る支援制度を活用する際に対象とする工事内容について、現在必要と思われるものをお答えください。

- 「支援制度を活用する意向はない」と回答した人が半数以上を占めている。
- 住宅家屋下での地盤改良まで想定している人は18.0%となっている。

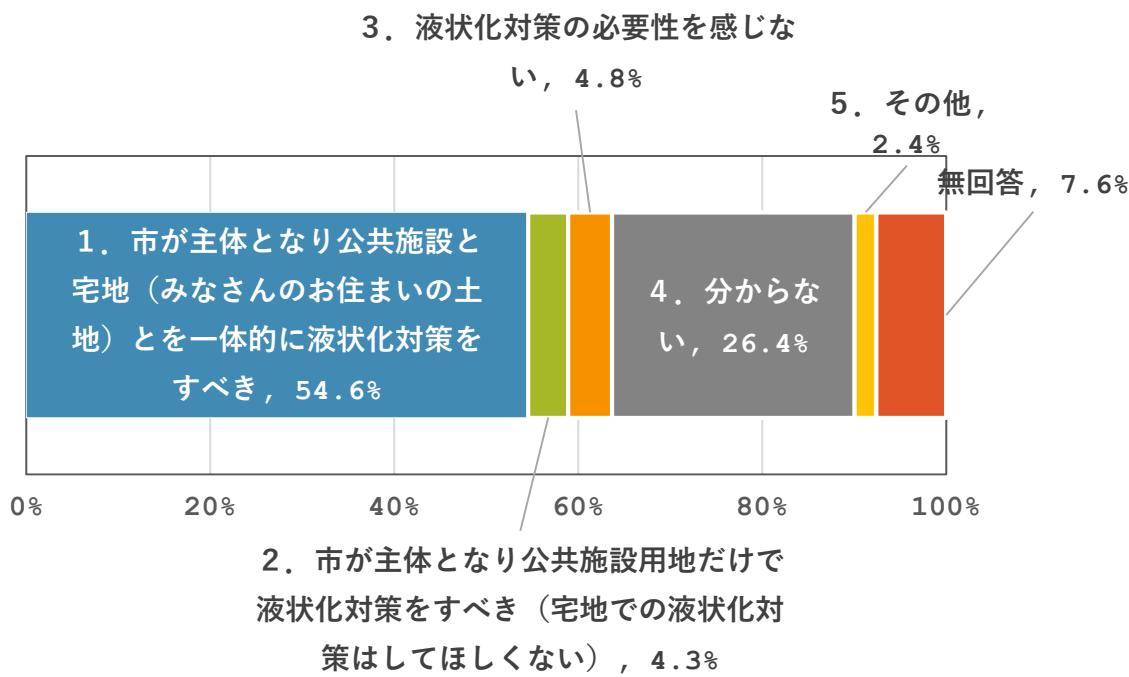


問9 宅地の復旧等に係る支援制度を活用する際に対象とする工事内容について、現在必要と思われるものをお答えください。（該当する全てに○印をつけてください）	回答数	割合
1. よう壁や宅地のり面の復旧	141	19.8%
2. 地盤の復旧（陥没・隆起した宅地の整地）	131	18.4%
3. 住宅建屋の基礎について沈下または傾斜を修復する工事（住宅の傾きを修復）	136	19.1%
4. 液状化災害の再度防止のための住宅建屋下の地盤改良工事	128	18.0%
5. 具体的に必要な工事内容は分からぬ	88	12.3%
6. 支援制度の活用意向はない	370	51.9%
7. その他	23	3.2%
無回答	54	7.6%
	n=713	

結果 | 単純集計一覧

問10 | 市では道路等の公共施設とみなさんの宅地とを一体として液状化対策を行う工事の必要性について検討をしています。このような工事は、再度の液状化防止に大きな効果を及ぼすものの、過去の震災の事例を踏まえると、長期間にわたる工事になることや、みなさんの宅地内の工事が必要となることが想定されます。具体的な検討を進めるうえで、このような工事の必要性について、現在の考えに近いものをお答えください。

- 「市が主体となり公共施設と宅地（みなさんの住まいの土地）とを一体的に液状化対策をすべき」と回答した人は54.6%と最も多い。
- 現時点では「分からない」と回答した人は26.4%と次いで多くなっている。



問10 市では道路等の公共施設とみなさんの宅地とを一体として液状化対策を行う工事の必要性について検討をしています。このような工事は、再度の液状化防止に大きな効果を及ぼすものの、過去の震災の事例を踏まえると、長期間にわたる工事になることや、みなさんの宅地内の工事が必要となることが想定されます。具体的な検討を進めるうえで、このような工事の必要性について、現在の考えに近いものをお答えください。（該当する1つに○印を付けてください）	回答数	割合
1. 市が主体となり公共施設と宅地（みなさんの住まいの土地）とを一体的に液状化対策をすべき	389	54.6%
2. 市が主体となり公共施設用地だけで液状化対策をすべき（宅地での液状化対策はしてほしくない）	31	4.3%
3. 液状化対策の必要性を感じない い、 4.8%	34	4.8%
4. 分からない	188	26.4%
5. その他	17	2.4%
無回答	54	7.6%
合計	n=713	